

ささえあい

No.25

発行／前橋・在宅ケアネットワークの会
 事務局 〒371-0017 前橋市日吉町2丁目17番地10(前橋市総合福祉会館内)
 TEL/FAX 027-235-6283
 受付時間帯 9:30~12:30
 郵便振替口座 00150-2-155119

市総合福祉会館
新しい事務所
で活動にはずみ



2.19 二月例会

■一月例会（新年会）

一月二十七日、本会の一月例会が市総合福祉会館で開かれました。総合福祉会館に事務局が引越して初めての集まりのことから、正月にちなみ「賀詞交換・新年会」の趣向とし、会員有志の協力で「なべ料理」を囲んでの新年会としました。

会館二階の調理実習室で、六つのテーブルに分かれそれぞれの鍋料理が用意され、皆でおいしくいただきました。新会館での初の集まりとあって参加者も多く、六十名が出席。

会員の皆様へ

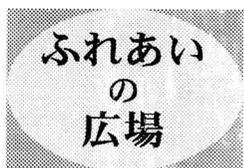
第七回 定期総会のご案内

いつも温かいご支援を賜りありがとうございます。
 下記の通り定期総会を行います。会員の方は万障繰り合わせてご出席をお願い致します。

- 第 回 定期総会
- 日時／ 5月10日（土）pm1:30~4:00
- 議題／ ①昨年度事業、決算報告
 ②今年度事業、収支予算
- 記念講演／ 『痴呆は人間的過程である』
 吉野昭男先生（吉野医院院長）

 ●総会終了後、地区活動の交流会があります。
 東、上小出、東部の方はご予約下さい。

齋藤理事長の年頭挨拶のあと全員が自己紹介し、なべ料理に舌つづみをうちつつ交流。記念講演には本県の食文化研究で著名な明和短大客員教授の志田俊子先生が『見直そう群馬の食事』と題して「食べることは生きること」を郷土



最近、外で元気に遊ぶ子供の声を聞くことが、少なくなりました。日本で少子高齢化が問題になり始めてから、十年以上

上になります。

現在、日本の人口を百人に換算すると、子供十四人、大人六七人、老人十九人であり、十年後には、子供十三人、大人六二人、老人二五人になるといわれています。このままでは、労働人口の低下による経済の後退と同時に、医療・年金・雇用・介護保険等の社会保障制度が、破綻すると思われれます。

政府は、三月十四日の閣議で「次世代育成支援法案」を決定しましたが、日本の女性一人が産む子供が、一・三人と極めて少ない現状を変えるには、まだまだ不足です。国民は、少子高齢の実情を十分に理解していません。出生増加の緊急性を強く訴え、出産育児を保護する制度の採用を図る必要があると思います。

さらにまた、教育の荒廃による社会不安と、老後の生活不安は、出産をためらわせる大きな要因です。戦後教育の不備の改善及び、生活不安を取除く税制と社会保障制度の抜本改革が急がれます。

(意志)

群馬の食文化から解説しました。現在の高齢者が子どもの頃から親しんできた郷土食とその献立、素材を育んだ本県の風土を豊富なスライドで美しくみせていただき、一同、大きな感銘をうけました。

■二月例会

二月十九日夜、総合福祉会館三階会議室で二月例会が開かれました。この日は昨年六月総会で急な家族の入院で



1.27 一月例会 (新年会)

流れてしまった本会専従の三森和也ケアマネジャーの「活動報告」を、改めて聞く会として行われました。

昨年、総会の場で会員に報告しようとして準備したものの、急な事情で流れしまい、多くの会員からも残念の声が聞かれましたが、約十ヶ月の期間を加えて本会が実施する「居宅介護支援事業」がこの日報告され、全体像が浮き彫りになりました。

平成十三年七月に三森さんが着任して以来、のべ百二十

軒のお宅の高齢者の介護を支えてきました。約二年間に新たにケアプランを作成したお宅は九十五軒、この利用者はおよそ半数が本会の会員の



志田俊子先生 講演

紹介による縁でサービスが提供されました。その他、利用者があのお宅も：と紹介して下さる場合や老人保健施設からの要請など、幅広いネットワークと仲間のささえあいの中で独立したケアマネジャーとしての活動が維持、継続できた、と報告されました。

このデータをもとに介護世帯の家族構成、介護者の有職状況、サービスの併用状況、要介護度の分布、また住宅改修の必要性の傾向など、高齢者の介護状況の特徴が詳しく分析、報告されました。

お世話をさせていただくお宅が七十軒を超えることは高齢者の状態を把握するだけでも大変です。一軒一軒に気配りをし、どんなニーズがあるかを把握するのがケアマネジャーの毎日の仕事。この二年間の経験から三森さんは本会

の今後の課題を次ようにまとめました。

- ① 「家族会」をつくらう
- ② 「住宅」関係者の研究会をつくらう
- ③ 「食生活」の研究会をつくらう
- ④ 「話し相手」ボランティアが大切だ
- ⑤ 「NPOケアマネ」の会をつくらう

この日はこの報告の他、地区活動支援のため各地でフリーマーケットを企画したいとの案が出され、相談しました。

■医師部会

三月三日には医師部会が開かれました。集まった会員医師は十六名で、在宅医療の現状や本会の近況について話し合いました。介護保険が登場して三年がたち、在宅医療の形態も施設指向が強まり、大きく変化しています。

この日は、本会のケアマネジャーを各医院で推薦しよう。本会の財政面を医師部会は支えてゆこう。本会での市民との有機的なつながりを活かし住みよい町づくりを目指そう。市民との広範なディスカッションを。ボランティアの掘り起こしが重要だ。在宅ケアと老人施設とが共存するネットワークを研究しよう。など活発な討論が行われました。

3月8日 ケアマネが「話し相手」ボラ 有償ボラの実際を学習

三月八日、会事務所で六名のケアマネジャーが集まり、本会副理事長の高草木満寿子さんと石澤治さんに「話し相手」ボランティアの実際と有償ボランティアの問題について聞く学習会が行われました。

二月例会で三森ケアマネジャーが業務報告した際、高齢者を支えるうえで「話し相手」が極めて大切との報告があり、これに対し医師からとくに強い共感の意見が出されました。往診で患者さんを診ていても孤独な方が多い。同居家族がいても孤立した状態で療養している例は沢山ある。医療とともに心のケアとしての「話し相手」はある意味では最も重要なこと、との指摘が数人の医師からありました。これを機に、ケアマネがこのサービスを知らないのはおかしい…、と声をかけ合いこの勉強会となったものです。

*

「話し相手」のサービスは現在、市が行っている軽度生活援助事業【軽ボラ】として制度化されていますが、この制度は介護保険の認定をうけた人は対象でなく非該当の人だけです。本会

では昨年、前橋市と委託契約しこの【軽ボラ】事業に取組むため数十名のボランティアの登録者がいますが、非該当の人が対象のため、ほとんど依頼、要請はありません。

またケアマネの多くも市が実施しているこの【軽ボラ】事業の利用方法やそれを担うボランティアの人々を知らず、「話し相手」がサービスとして存在することが周知されないままです。

ケアマネジャーが「話し相手」をケアプランに組み込むためには介護保険とは別な手続きで市と連絡をとり依頼する必要があるため、実際の利用はなかなか困難です。本会ではこの問題を解決するため有償ボランティアとして時間あたり三百円の謝礼基準をきめて態勢をとっていますが、利用はごく少数です。

高草木さんは三年前「話し相手」ボランティアの活動記録を『訪問記』と題するパンフレットにまとめ医師の協力で出版しています。この冊子は「話し相手」が孤独に陥った高齢者をどのように癒し、生きる気力を蘇らせるか

を訪問の都度、主治医と交わした往復書簡を綴ったものです。

(本紙14号で紹介)

*

この日は「話し相手」活動の実際の内容。利用するための手続き。介護保険の該当者が有償で利用する際に利用者が有償ボランティアをどう判断するか。またケアマネが勧める場合、どのような説明するか。など話し合いました。

勉強会を終えて、ケアマネからは「目からウロコが落ちた気がする…」とボランティア活動による心の交流の奥深さに心底から感動した様子でした。



おまかせ下さい 防犯・防災

機械警備 施設警備
ホームセキュリティ 警備輸送



群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

Yamato

都市と杜の新世界へ

鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。
「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。私たちが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を提供し、地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。

株式会社 ヤマト

群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
URL <http://www.yamato-se.co.jp>
支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営業所/軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、熊谷、栃木市
付属施設/大和センター、大和環境技術研究所、大和分析センター

環境マネジメントの国際標準規格 ISO14001 認証取得 品質保証の国際標準規格 ISO 9001 認証取得

東地区 第30回例会報告

自然環境の変化と生物 ～両生類が消えて行く～

群馬県自然環境調査研究会
金井賢一郎先生

も豊かに暮らせる町」と環境という言葉があらゆる形と内容で使われています。また、学校の教科書にも「地球環境を考えよう」など教材としても取り上げられています。環境問題抜きではこれからの生活は成り立たないとも言えます。

一九七一年には環境庁（現在の環境省）が誕生しています。このことは水俣病、イタイイタイ病、四日市喘息など大きな社会問題となったことが契機となって出来たといえます。環境の変化で姿を消した動植物が各地で話題となっています。最近の報道で、月の輪熊が尾瀬に現れたようです。この熊は関東には多いが、大分県には居ないのです。これは一例ですが、生物の生息の様子は県（地域）によってことなります。このような絶滅種や絶滅危惧種についてまとめた「レッドデータブック」があります。群馬県でも「絶滅のおそれのある野性動物」が最近出版されました。

▼身近な「環境」意識

光が丘町の南では宅地造成が行われています。毎日の新聞に入るチラシの文言は「生活・教育・医療・通勤アクセスなど利便性の充実した、いつまで

▼両生類とはどんな生物か

両生類は今から約三億六千万年前の古生代に最初に水中から出て陸上生活をするようになった背骨のある動物です。だから体のつくりも弱く、皮膚から水分が入りしやすい体構造を持つ

ため、生存には皮膚からの水分が欠かせません。卵は水中に産み、育つように生活史の上からも水と陸どちらとも必要で、両方ないと生きられないもろさと弱さを持った動物です。池、沼、水田などの水域、樹木、土が生存に欠かせないことがお分かりになるでしょう。

▼絶滅か？ 両生類の悲哀

少なくなったのも、居なくなったものへの対策は世界的問題といえます。

・外国の場合

オレンジヒキガエルが中南米コスタリカのモンテベルデ雲霧林保護区で話題になったのは一九八七年でした。このカエルは体長5〜5.5センチで体色は綺麗なオレンジ色で真っ黒い眼を持っていました。春先のわずかな期間に繁殖、産卵の活動をしていました。このカエルが四年後の一九九〇年には全く現われなくなっていました。突然の減少の原因は当時不明とされました。各地の実例が続きます。

オーストリアのイブクロコモリガエルは「オタマジャクシ」をお腹の中で育てる珍しいカエルですが絶滅。北米カルフォルニア州のキアシガエルはわずか一匹だけと減り、中米コスタリカ

介護保険を利用した

住宅改修の例

(その2)

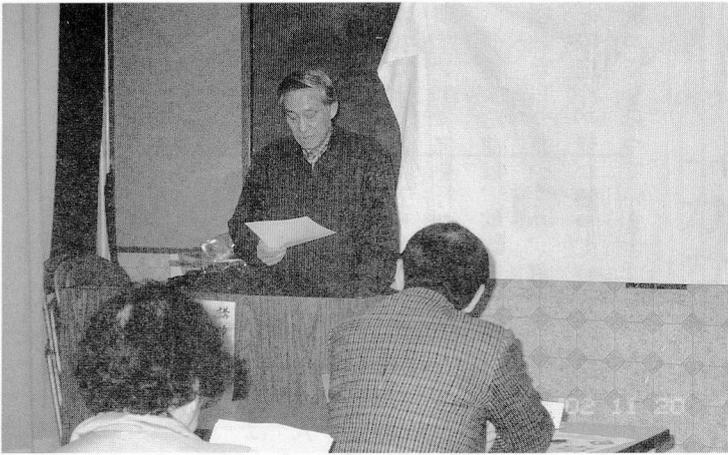
ケアスマイル 塩沢道夫

要介護及び要支援の認定を受けている方は、介護保険制度で、小規模な住宅改修を行うサービスを受けることができます。内容は二十万円を限度として自己負担一割（償還払いにて九十%還付）にて指定対象工事が可能となりますので足腰の衰えまたは障害の後遺症等で歩行、立ち座りが困難となっている方は改修により在宅での日常生活改善を計ることをお勧めいたします。



Bさんは従来和式トイレだったので立ち座り時に非常に大変な思いをしていましたが、腰掛けて用を足せる洋式便器に取替え、横にL型の手すりを設置したことにより、安心して座位保持が可能になりました。

工事をする前に支援相談員及び施工工事者へ、現在どんなことが困って



の熱帯林のオウゴンヒキガエルは絶滅寸前と言われています。一九九二年にリオデジャネイロで開かれた科学者会議では「カエルの減少は地球の異変をつげる早期警告ではないか」と議論され国際自然保護連盟(IUCN)が原因究明に乗り出しました。

・群馬県の場合

トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエルが絶滅危惧種とされるほか、アマガエル、ヒキガエル、イモリ、シユレーゲルアオガエルなどが減少傾向

とされています。また、上野村・中里村のみに生息するヒダサンショウウオもこの類にはいりません。

・前橋市の場合 — 水田の減少 —

トウキョウダルマガエル(トノサマガエルと呼ばれたカエル)、ニホンアカガエルは、水田に生活の場をもつ両生類です。

水田は、これらのカエルたちのエサ場であり、産卵場であり、そして冬眠の場でもあるのです。この水田が最近減ってきています。前橋市の資料によると昭和五〇年の総面積の22・5%あった水田が平成二年には18・8%に、平成十二年には16・1%と減少しています。

水田での産卵場所を近県で調べてみると開発や休耕田化で水田は減少し、わずか三〇年ほどの間に40%程度に減りこれが個体数の減少に輪をかけていると考えられるわけです。

▼急減の主因

— 将来への影響・まとめ —

最近、両生類急減の主因としてコストリカの場合では雲霧林の乾燥化が主因といわれていますが、その他の原因も加わる複合的影響とも考えられます。それは、紫外線の増加、酸性雨の

影響、森林伐採、農業による水質汚濁、病原菌による感染などで、どれをとっても大変なことです。

両生類にとっては、人間が感じられないような、わずかな変化が彼らの生活に影響していることもあります。

自然環境の変化が両生類に与える影響、とくに生息場所(住)とエサ(食)が重要なポイントであることを中心に自然環境問題を考えました。

これらのことが環境問題を考える材料になればと思います。

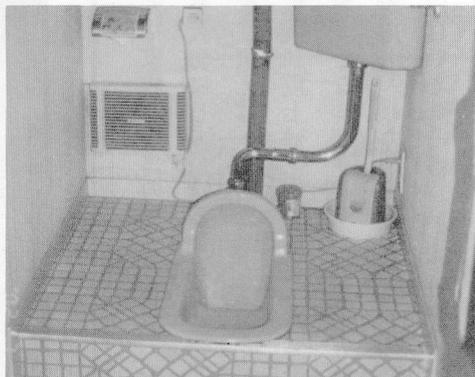
— 講師紹介 —

元高校教師で両生類の研究に四十年以上たずさわる。県自然環境調査会員並びに、市自然環境保全推進委員。光が丘町在住。

*

この日の例会では金井賢一郎先生が所蔵の講演のなかで取り上げられた両生類の資料スライドが投影されました。また医療トピックスとして滝沢康先生の「味覚障害」と中田益允先生の「群馬県の小児救急医療体制について」のお話しもありました。(本間正三郎)

るか、どうにしたいかを明確に伝え、アドバイスを受けるようにすると良いでしょう。
自分でも気がつかないうちに柱や戸の縁につかまっているので手垢で黒くなっていたりするものです。



施工前



施工後



演奏ボランティア グループつくしんぼ

饗場光枝

私たち「グループ・つくしんぼ」は音楽の大好きな仲間の集まりで、老人介護施設やデイサービス、病院の介護病棟などを訪問し、ピアノや歌の演奏ボランティアを行なっています。

演奏する曲は、歌謡曲、民謡、童謡、唱歌からクラシック、ポピュラーまで幅広く、皆が知っている歌は一緒に歌ってもらっています。心地よいピアノ

の生演奏は、心がすうつとして癒されるし、懐かしい昔の歌を大きな声で歌うと童心に戻って元気になれると皆さんから喜んでいただいています。

私たちはこの活動を通して時々「音楽の持つ力はすごい」と気が付かれます。それまで無表情だったのに「琵琶湖周航の歌」が始まったとたん姿勢を正して大声で歌い出した男性、「月の砂漠」を歌いながらハラハラと涙をこぼした女性、

「櫻井の別れ」の歌詞を何番も何番も思い出し教えて

ケア・コスモス

前橋支店 岡庭とも子

〒371-0018
前橋市三俣町2-27-10
TEL027-235-2944
FAX027-235-2924
Mail BHE10ACJ
@wamnet.wam.go.jp

当初、大胡町に拠点を置いていました。こんにちは、ケア・コスモスです。

New Face 登場!

会員の自己紹介、活動アピール、全会員への呼びかけのページです。

(字数500字・写真1枚)
どしどしご投稿下さい。

くれる九十歳過ぎの方…。こういう方たちにお逢いして、お一人ひとりの人生に歌や音楽が息づいていたんだなあと感動すらしてしまいます。
自分の好きなことで他の人が楽しんでくれる、こんな素敵なボランティアが出来て私たちは幸せです。これからも施設の係りの方たちと協力して、お年寄りに喜んでいただけるよう頑張つてやっていこうと思つています。

私たちの出番があればお気軽に声を掛けてくださいね。

が三俣町に二年前に引越しました。一民間事業所で

仕事をやっているのかと、一抹の不安もありましたが、ありがたいことに介護の依頼が急速に進み嬉しい悲鳴となりました。現在、ケアマネジャー三(看護婦)、訪問介護職員十五(介護福祉士二、二級ヘルパー一三)訪問入浴

の看護婦一の体制でそのほか福祉用具貸与、住宅改修等のサービスをおこなっています。
モットーは「誠実」です。利用者さま

連絡はネットワークの会まで



んや家族、担当のケアマネジャーの声を大切にしていけるように努めています。例えば一時間以内の訪問介護でも保険制度上は三十分以上一時間未満の料金となっていますが、五十五分まで対応し、残りの5分で記録し1時間お宅にいられるようにしています。ケアプランでは自社サービスだけにこだわらず、他事業所のサービスのみの方も4割から5割います。

介護職員も長年在職していただいております。大切な人材を生かす地域に貢献し福祉、ボランティア精神も持ちながら努力していきたいと思っております。

私たちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。
医療を通じ すみやすい まちづくり

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

相原 医院

院長 相原 健次郎
診療科目 内科・小児科

〒371-0846 前橋市元総社町1-1-9
TEL 027-251-2815

五十嵐皮膚科医院

院長 五十嵐 俊弥
診療科目 皮膚科

〒371-0016 前橋市城東町3-7-25
TEL 027-232-1023

岩内整形外科医院

院長 岩内 省三
診療科目 整形外科

〒371-0023 前橋市本町3-1-24
TEL 027-224-5265

大塚外科胃腸科医院

院長 大塚 浩之
診療科目 外科・胃腸科

〒371-0847 前橋市大友町3-23-4
TEL 027-252-6006 FAX 027-252-6007

河合歯科医院

院長 河合 雅之
診療科目 歯科

〒371-0023 前橋市表町1-13-7
TEL 027-221-6853

生方会 生方 医院

院長 生方 璋
診療科目 外科・整形外科・内科

〒371-0024 前橋市表町2丁目27-22
TEL 027-224-2818 FAX 027-224-1988



あらいクリニック

院長 新井 和男
診療科目 外科・内科

〒371-0846 前橋市元総社町848-7
TEL 027-253-0100 FAX 027-253-0020

伊藤内科医院

院長 伊藤 琢夫
診療科目 内科・循環器科

〒371-0031 前橋市下小出町2-49-16
TEL 027-232-0537

全人会 前橋皮膚科医院

大川 司/大川 章
診療科目 皮膚科

〒371-0034 前橋市昭和町1-7-17
TEL 027-231-8675 FAX 027-231-0509

加藤外科内科医院

院長 加藤 祐之助
診療科目 外科

〒371-0014 前橋市朝日町1-13-12
TEL 027-243-5169 FAX 027-223-3149

朱音会 内田外科医院

院長 内田 源次
診療科目 外科・整形外科

〒371-0013 前橋市西片貝町2-285
TEL 027-224-5061 FAX 027-223-4468

地域の情報 リアルタイムで!!

モーニングインフォメーション

あさいち・朝生・情報通
月曜～金曜あさ6:55～

お昼のインフォメーション

ふれ愛
ワイド

月曜～金曜
ひる0:00～

GTVニュース

ジャストナウ 545
600
930

●日曜ニュース&スポーツ
夕方6:00～



おかげさまで30年

ぐんまTV

4月から開講 第二回 訪問介護員(3級)養成研修会

ホームヘルパー養成研修会(3級)を4月22日(火)より開講致します。昨年8月に第1回目を実施し、2回目の研修会です。今回の講師団をご紹介します。

所属/役職名	ご氏名
//////// 講義及び演習の部 //////////////////////////////////////	
ケアハウス悠々クラブ管理者 前橋市保健福祉部	清水秀夫先生 各職員の皆様
前橋市農業協同組合介護ステーション責任者 上武呼吸器科内科病院看護師(保健師)	萩原美智代先生 能條好江先生
県立明風園介護機器相談指導員	秋元幸子先生
医療法人清水の会 ヘルパーステーション責任者 あらいクリニック院長	坂本美佐世先生 新井和男先生
松沢医院院長	松澤一夫先生
居宅介護支援事業所 ケアスマイル 管理者	塩沢由子先生
//////// 実習の部 //////////////////////////////////////	
ヘルパーステーション えいめい 責任者	坂本美佐世先生
恵風園ホームヘルパーステーション主任	関根早苗先生
J A前橋市介護ステーション責任者	萩原美智代先生
恵風園デイサービスセンター 生活相談員	井上恵美子先生
老人デイサービスセンターえいめい 責任者	富樫和人先生
介護老人保健施設 一羊館 介護長	山田豊先生
//////// ガイダンスの部 ////////// (当会の特別メニュー) //////////////////////////////////////	
斎藤医院院長 (当会・理事長)	斎藤 浩先生
前橋市保健センター 管理栄養士	阿部晴子先生
(社)生命の貯蓄体操普及会理事	栗田貞子先生
高齢者電話訪問相談センター(当会・副理事長)	高草木満寿子先生

二之宮町の福田うめ様から
なんでもキレイにあらえる
ふしぎなタワシ100個
いただきました。

5月10日の当会の定期総会にご参加下さった皆様へプレゼントさせていただきます。
せっせせっせと一針一針丁寧に編み上げたタワシです。色とりどりでとてもきれいです。
皆様、どうぞご活用下さい。
先着 100名様です。
よろしくお祈りします。
福田さん本当にありがとうございました。

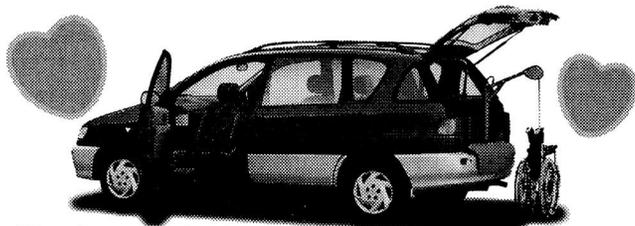
..... お知らせ

◎この度、事務局長が、猪俣典昭さんから飯嶋はま子さんに替わりました。猪俣さんは幅広い知識をいかして、会務を推進してきましたが、体調がすぐれず交替となりました。今後は、会のためにアドバイスをくださることになっています。猪俣さんご苦労様でした。飯嶋さん活躍を期待しています。

◎当会所属のケアマネージャーは一人でしたが、5月から2人になります。いつでも利用者の要望に応えられるよう、居宅介護支援事業の一層の充実を図ります。介護保険関係の相談についても、積極的に応じます。

幸せをたげる群馬トヨタペットの福祉車両

乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はイブサムウエルキャブタイプB

お客様相談フリーダイヤル ☎0120-29-5123
http://www.toyota.co.jp/p-gunma/

群馬トヨタペット
本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL.027-251-5111(代)

編集後記

イラクの戦争も一段落して、ほっと一安心。新生イラクの誕生を温かく見守りたいと思います。

四月は、色々な出発の時、新入生、新入社員、新社会人等様の祝福のもと、初体験を大切にして行くことでしょう。

我々の会も、新たな気持ちで、積極的に、会務の発展を考えてまいりたいと思います。「ささえあい」にも皆様方の声を多く掲載したいと、紙面をあげて待つています。どうぞふるって投稿して下さい。お願いします。

(治)